

エスディー・ジーズ

# SDGs 未来安心都市・明石へ

## 新年度の 主な取り組み

新型コロナウイルス感染症対策のほか、  
令和3年度の市の主な取り組みを紹介します。  
お問い合わせ / SDGs推進室 (TEL 918-5010 FAX 918-5101)

## 市民の安心と生活を守る SDGs 未来 安心 予算

令和3年度の明石市当初予算が決まりました。  
新型コロナ対策を充実させるほか、子ども医療費の無料化など、市民の安心と生活を守るための施策に重点を置き、誰一人として取り残さないSDGsの理念を反映したまちづくりを進めます。



## 新型コロナウイルス 感染症対策を進めます

市民の命を守るため、感染対策や相談窓口の充実のほか、さまざまな生活支援策をスピード感をもって実施します。

- 感染対策
- 生活支援
- 相談窓口

## 新型コロナウイルス感染症対策の充実

### ●感染対策のさらなる強化へ

検査体制の強化、クラスター発生施設への総合的支援や、自宅待機患者への支援など、感染拡大防止のための取り組みを強化します。

- ▶高齢者施設の新規入所者へのPCR検査
- ▶クラスターが発生した施設への総合的支援
- ▶自宅待機患者の健康観察や血中酸素飽和度測定器(パルスオキシメーター)の貸し出し **New**

### ●ワクチン接種をスムーズに

新型コロナワクチンを安心、安全でスムーズに接種できるよう準備を進めます。



### ●妊婦へのPCR検査費用の助成

PCR検査を希望する妊婦(妊娠34週以降)に検査費用(上限2万円)を助成します。

里帰り出産の人も対象です



### 「新型コロナ」条例を可決

3月議会で、新型コロナの差別禁止などを盛り込んだ条例が可決されました。市民の健康と生活を守るため、市が一人ひとりに寄り添い、総合的に支援していきます。



**New** コロナ差別の相談窓口を開設しました ⇒12面参照

## 高齢者・障害者施策の充実

### ●認知症あんしんプロジェクト

これまでの認知症早期支援や給付金に加えて、認知症サポーターや認知症カフェを拡充し、まちのみんなで認知症の人と家族を支えます。

- ▶認知症診断費用を全額助成
- ▶認知症と診断された人にサポート給付金(2万円)、認知症手帳、3つの無料券を給付
- ▶認知症(オレンジ)サポーターに、**New** より専門的なシルバー・ゴールドサポーターを創設



### ●高齢者の移動を支援

高齢者が安心して外出できるように寿タクシー券の増額の継続や「運転免許返して安心プロジェクト」の拡充(5面参照)を行います。



### ●補聴器の購入費用を助成

難聴によって生活に支障が生じている高齢者に補聴器の購入費用を助成します。

対象/医師が必要と認めた65歳以上の人(所得制限なし)  
助成額/上限2万円 7月ごろを予定



### ●高齢・障害者のための施設整備の促進

特別養護老人ホームや障害者グループホームなどの整備と、福祉人材の確保・育成を支援し、質の向上を図ります。



### ●災害時における要配慮者への情報発信システムの導入

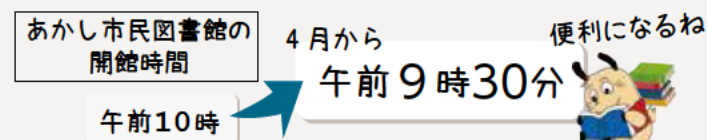
## 元気・魅力・交流の創出



開館時間が拡大するあかし市民図書館

### ●本をもっと身近に「本のまちづくり」を推進

4月1日から、あかし市民図書館の開館時間を毎日午前9時30分に前倒しします。また、高齢者施設などへの本の宅配、西部図書館に(仮称)読書バリアフリーコーナーを設置します。



### ●日本標準時135周年記念イベント

1886年に、東経135度子午線上の時刻を日本標準時と制定してから、135周年を迎えます。

### ●東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベント

## 自然にもやさしいまちづくり

### ●大蔵海岸に「自然観察ゾーン」が登場

大蔵海岸の磯浜を、子どもたちが海の生き物や自然に触れ合える「自然観察ゾーン」として、遊び・学び・喜びを体験できる拠点に。



大蔵海岸の西側にある磯浜

### ●豊かな海づくりの推進

### ●家庭用燃料電池および蓄電池への補助

## ハートフルハードのまちづくり

### ●西明石地区活性化に向けた取り組み

JR西日本との協定に基づいて、六甲バター工場跡地での新たな駅前広場の整備など西明石駅周辺エリア全体の活性化に向けた取り組みを進めます。



### ●南畑踏切の安全対策

### ●山陽電鉄駅舎のバリアフリー化～中八木駅に北改札を設置～

## すべての人にやさしいまちづくり



性の多様性を象徴するレインボーカラー

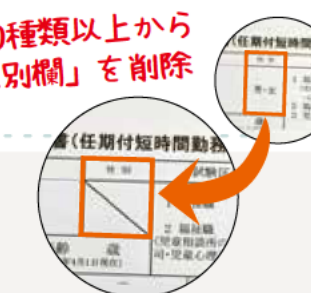
### ●LGBTQ+/SOGIEへの理解を促進

性の多様性について、学校や企業、地域などで研修や啓発を実施します。また、パートナーシップ・ファミリーシップ制度利用者の公正証書作成費用を助成します。

### にじいろ基金の設立と性別欄の廃止

LGBTQ+/SOGIEに関する取り組みを継続して進めるための「明石にじいろ基金」を設立します。また、市の手続きの書類などから、原則、性別欄を廃止するよう進めています。

200種類以上から「性別欄」を削除



### ●がん患者のアピアランスサポート

がん治療を受けた人の外見の変化による心理的な負担を軽減するため、医療用ウィッグや乳房補正具の購入費用を助成します(所得制限あり)。

### ●ひきこもり専門相談の充実～総合的な支援へ～ ⇒4面参照

## 子どもを核としたまちづくり

### ●中核市で全国初 18歳まで無料に

今年7月から、子ども医療費の無料化を高校3年生までに拡充します。 ⇒1面参照

### ●中学1年生を35人学級に

中学1年生で1クラス35人の少人数学級を導入。中学校入学時のつまづきを解消し、スムーズに学び続けられる環境を整えます。

【1クラスの人数】		
学年	他市	明石市
中2・3		40人
中1	40人	35人 <b>New</b>
小5・6	40人	40人
小2・3・4	35人	35人
小1		30人

明石市独自の少人数学級

### ●待機児童の解消へ受け入れ枠をさらに800人拡充